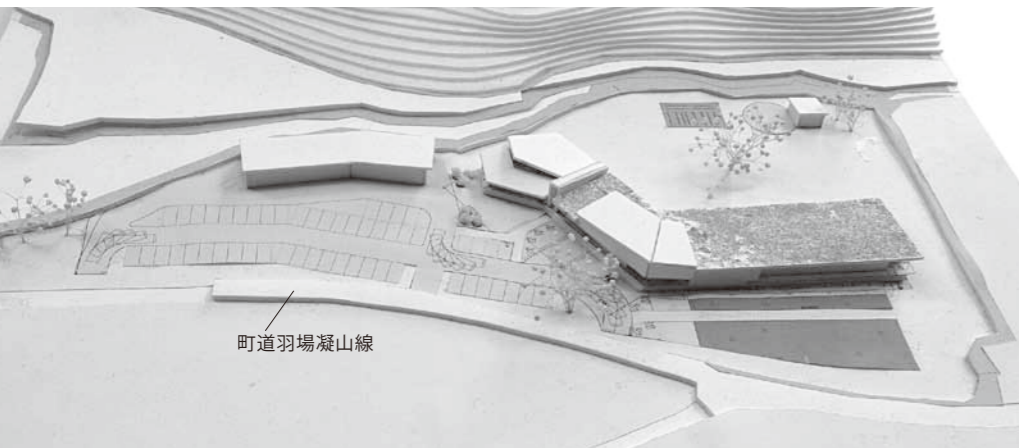


一般会計予算
46億9100万円

子育て支援の充実(新めごたま園建設) 貸工場建設(大商金山牧場)元気づくりスタート

3月定例会



町道羽場凝山線

新めごたま園完成予想

全議案・全員賛成で可決
平成27年度3月議会定例会が3月3日から9日までの7日間の会期で開催され、全議案を全員賛成で可決し、閉会した。3月議会は、予算議会と言われ予算特別委員会を設置して新年度予算を審議し、多方面にわたる質疑が行なわれた。(予算特別委員会での各委員の質疑の要旨は4Pから7Pに記載)また、当初予算の詳細については、広報かねやま4月号を参照していただきたい。

町長施政方針(要旨)



28年度予算編成では、全国的に地方版総合戦略が展開されていることを踏まえ、町として昨年10月に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げた「雇用創出・定住促進、結婚・出産、子育て支援、地域連携」の施策や人口ビジョンを軸に4つの重点分野として取り組むものとした。「人材育成」「健康づくり」「産業振興」「定住と交流の促進」で「元気づくり」をテーマとして、着実に夢と優しさを未来に繋ぐ」をテーマとして積極型予算の編成とした。大商金山牧場の餃子加工販売施設の貸工場建設、学力向上として

民間学習塾の開催、児童生徒の科学への夢実現のためのペッパー(ロボット)配置、脳ドック検診助成、TPP対応での農業基盤整備事業の充実、金山住宅推進ミニ削る会の開催、定住促進住宅事業の設計着手、認定こども園建設経費補助など新しい取り組みを進めていく考えである。就任2期目の目標としていた7つの施策も継続していく必要があり、農業所得の向上、林業振興、健康な暮らし、公営住宅建設、雇用創出、子育て支援の充実も加味したものであり、町民皆さんでの町づくりを進めていきたい。

3月議会定例会提出議案(補正予算除く)

議案番号	案件名	議案の内容
5号	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に基づき国へ準拠すること及び医師確保と診療体制の変更による医師の諸手当の改正
6号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	
13号	町長等の給与の特例に関する条例の設定	町長の任期(4/26)まで、町長10%、副町長7%、教育長5%を減額するもの
14号	行政不服審査会条例の設定	行政不服審査法の全部改正に伴い整合性を図るための改正
15号	公文書公開条例等の一部改正	
16号	路線バスの設置及び管理に関する条例の一部改正	高校生と70歳以上の料金を200円から100円にするもの
17号	税条例の一部改正	地方税法の一部改正に伴い改正するもの
18号	介護保険条例の一部改正	マイナンバー法の施行に伴い改正するもの
19号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	
20号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正	国の基準改正に伴い所要の改正をするもの
21号	産業振興条例の一部改正	雇用環境のさらなる整備のため期間を3年間延長するもの
22号	町営住宅管理条例の一部改正	単身者用住宅の町営住宅内町団地について公募の例外を設定するもの

議案番号	案件名	議案の内容
23号	過疎地域自立支援促進計画の策定について	平成28年度から32年度までの過疎対策事業及び辺地地域の公共的施設等の総合整備について県と事前協議のうえ5か年計画を策定
24号	漆野辺地に係る総合整備計画の策定について	
25号	中田辺地に係る総合整備計画の策定について	
26号	公の施設の指定管理者の指定について	平成28年4月から5か年指定管理者を引き続き指定するもの
34号	町道の路線廃止について	町道上台・下野明線の県道の旧敷地を付け加え終点を変更するもの
35号	町道の路線認定について	
36号	公文書公開審査委員の任命について	公文書公開審査委員の任期満了に伴い、小沼幸男、佐藤一男、早坂和子、笹原美也子、栗田浩二各氏の5名を引き続き任命し、併せて経験を活かし行政不服審査委員会に任命するもの
37号	行政不服審査会委員の任命について	

議案番号	案件名	議案の内容
1号	議会公文書公開条例の一部改正	行政不服審査法の全部改正に伴い整合性を図るための改正
2号	奨学金制度の充実と教育費負担の軽減を求める意見書	政府、国会等に奨学金制度の充実などを求める意見書の提出

議案番号	会計名	28年度予算額	前年度予算額	比較	率
27号	一般会計	46億9100	43億2500	3億6600	8.5
28号	国民健康保険特別会計(事業勘定)	8723	8149	574	7.0
	国民健康保険特別会計(直診勘定)	3億6581	4億173	▲3592	▲8.9
29号	介護保険特別会計	7億4196	7億1370	2826	4.0
30号	後期高齢者医療特別会計	6320	6013	307	5.1
31号	農業集落排水事業特別会計	7305	6086	1219	20.0
32号	公共下水道事業特別会計	1億4874	1億4641	233	1.6
33号	水道事業会計(収益的収支)	2億866	2億60	806	4.0
	水道事業会計(資本的支出)	8865	7295	1570	21.5
	水道会計資本的支出を除く合計	63億7965	59億8992	3億8973	6.5

議第13号から26号、議第34号から38号までの本会議質疑要旨

中村忠行議員 路線バス料金改定を評価するが現状の利用者数と収入は、町民税務課長 平成26年度では、利用者数4万8千5人で、177万8千円となっている。

は発展途上の状況で3年後も町に定住して欲しいと期待している。

須藤典夫議員 地産地消と食育の取り組みで地域内供給はどこを指しているか。

矢口政一議員 指定地域密着型サービス事業と診療所の関係は、健康福祉課長 国の基準変更に伴うもので、診療所体制と関わりはないものである。

高橋芳夫議員 大規模基盤整備への取り組みは、町長 合意形成がポイントとなるがその方向で継続したい。

早坂憲明議員 路線バス利用で義務教育の中学生までの無料化と温泉施設への路線対応はできるのか。教務課長 これまでも何度か路線ダイヤ変更をしてきたが多様なニーズに対応するのは現状の台数、予算では難しいと考える。

栗田保則議員 指定管理者指定での公民館利用の実態は、産業課長 国等の補助による公民館建設は町の中で運営されることとなっていて指定管理体制にしている。

高橋浩樹議員 地域おこし協力隊の現状と今後について。総務課長 現状の4名の隊員で来年度は、採用しない考えである。活動的に

寒河江宏一議員 ふるさと納税返礼品の多企画を、町長 国からは過度な取り組みにならないようにと指摘されているが町内産物の提供を基本として企画を進めていきたい。

人事



土屋 倫朗氏

●公文書公開審査会委員の任期が満了するため、引き続き、小沼幸男氏、佐藤一男氏、早坂和子氏、笹原美也子氏、栗田浩二氏を任命し、併せて、これまでの経験を活かし、新たに施行される行政不服審査会委員にも任命するものであり、全員賛成で選任の同意をしたものです。

●平成26年4月から2年間副町長の要職を担っていただきました土屋倫朗副町長が3月31日付けで退任されました。土屋副町長には、第38回全国国樹祭を大成功に導いていただくなど、町の発展に大変ご尽力いただきました。4月1日からは山形県商工労働観光部商業・県産品振興課長として、栄転されました。今後、益々のご活躍をご祈念いたします。